



🌻 定期的な活動

👨‍👩‍👧 ラジオ体操

史跡公園での朝のラジオ体操は、毎日続いています。屋外で、密になることもなく、マスクをはめている人は、ほとんどいません。ストレス解消のためにも、ご参加ください。

🏠 いわくら大地の里の家

五十嵐先生から経営を引き継ぎ、「いばしょ Café」としてオープンしました。「Kousuke カレー」と「Mebius バーガー」と「うたかた雪氷」の主力商品でなんとか頑張っています。貸しスペースとして活用いただいています。7月19日は子ども食堂です。営業時間は、8時～5時。水曜日・土日祝はお休みです。0587-50-5314

🎵 デイサービスセンター等への慰問

残念ながら、コロナのためお休みしています。



公共施設は、開館しましたが、剣道は、まだお休みです。

◆ 6月議会からの報告 ◆

新型コロナウイルス感染症議会

国の施策である1人10万円の定額給付金のほか、岩倉市独自の支援策の予算を可決しています。

その中で、今後検証していかなければならないものをピックアップしておきます。

①国のギガスクール構想による、**児童・生徒に1人1台のタブレットを購入する予算・・・約3億円**

議会において、ソフトはどうなるのか、教育ICTの計画はあるのか、教師の負担などを質問

しましたが、まだ何も決まっていないことがわかりました。

「コンピュータ ソフトなければ ただの箱」

また、学校休業を余儀なくされた環境では、インターネットを利用した授業が有効な場合もありますが、果たして、学習全般にわたって、パソコンによる授業が有効なのかという科学的検証も必要だと考えます。

人間は、五感を使って複合的に記憶されたときの方が長期記憶するのではないのでしょうか。

② **宅配ボックス設置に対する補助金 1600万円**

再配達による車のガソリン消費を解消することでCO2の削減につながる。そして、接触を減らすことを目的とした事業です。

私は、市民ニーズがどのくらいあるのか、岩倉市の設置率はどのようか、国の事業者に対する補助事業の普及状況などを質問しましたが、何もしていないことが明らかになりました。一般的に、事業を提案するときには、そのような調査を行い、そのデータを根拠にして構成します。民間企業であれば、当たり前のことですが、それがなされていません。

一般質問を行いました



問 岩倉市の対策本部は、コロナ感染症対策について協議し、決定している。議事録を録り、公開されるべきであるがどうなっているか。

答 議事内容、報告事項、協議及び**決定事項**を記録している。氏名等の記載はない。録音はしていない。行動計画に基づき、公表することになっている。

問 国では会議の公開などのガイドラインを定めているが、岩倉市ではどのようか。

答 附属機関等に対するものはあるが、庁議や対策本部などの会議のガイドラインはない。

問 意思決定する機関であるならば、国の専門
家会議と同様に、どのように物事が決まってい
ったのかを検証するために、議事録が必要だ。
録音も行い、一定期間保存する必要がある。な
ぜ作成しないのか。

答 対策本部は、意思決定機関ではなく、総合
調整が役割であり、必要ない。

問 3月1日の健康マラソンの中止は、教育委
員会で決定すべきである。2月20日午後開催の
教育委員会の議事録を読むと、部長は、午前中
の会議により中止を決定したと言っている。そ
の会議とは何か。

答 3役会議（市長・副市長・教育長）である。

問 学校休業についても教育委員会を開かず
に決定している。なぜか。

答 国、県から休業要請があった。あくまでも
要請であり、決定するのは市の教育委員会では
あるが、臨時の教育委員会を開催する暇がない
という判断で、事前に教育委員に了承を得ること
なしに、教育長が臨時に代理した。

問 立川市では、教育委員会を開いて決定して
いる。3月11日に開催された岩倉市の教育委員
会の中で、委員からも「学校休業を決定するに
当たっては、教育委員が集まって協議しなくて
も良いのか」「誰が、いつ、どこで集まって、ど
のような協議をして学校の休業を決定したの
かわからないのに追認して欲しいということ
はあり得ない」と厳しい意見が出されている。
3月4日の議会運営委員会の中でも、私が直に
教育長に「教育委員会の姿が見えない。事後報
告ではいけない」と指摘し、教育長は、そのと
おりだと反省の弁をもって述べられた。その後
は、教育委員会を開いて決定しているのか。

答 4月3日の教育委員会で、6日から入学式、
始業式と学校を始めることを確認している。し
かし、土日の間に、愛知県から休業の要請があ
り、そのときも教育委員会の開催はしなかった。

問 学校休業は、子どもたちを守るというより
は、社会防衛のために大人たちが決めたもので
あり、一番の被害者は当事者は、児童・生徒で
ある。5月17日に、1日かけて、子どもたちの
声を聞いて回った。休みの間、ゲームや漫画、

YouTubeなどに多くの時間を費やしていたが、
最終的には飽きてしまい、学校に行きたかった、
友達に会いたかったという多くの声が半分悲
鳴のように聞こえてきた。「どうして急に学校
が休みになるのか、先生からは具体的な説明は
なかった」「外国の友達が国に帰ってしまって2
度と会えなくなった。せめて2日欲しかった」
という声。本当に身に詰まされる思いになった。
このような哀しい思いをしている子どもたち
に向け、掛けてあげる言葉があれば、一言でも
いい。市長、お願いします。

市長 子どもの意見を聞くことは、行政運営だ
けでなく色々な場面で大切なことだと思っ
ている。ただ、人の命に関わるような重大な決定
をしなければならないときも多々ある。まさに、
新型コロナウイルス感染症対策は人の命が懸
かり、大きな責任が伴う。我々も一定の覚悟で
腹をくくって責任をもって決定をしてきた。
軽々しく決めたわけでも何でもなし。人の命が
関わる重大な決定を、大人が責任を持って決め
るのが優しさではないか。子どもにとっては酷
な判断ではあったかもしれないが、国や県から
の要請で右往左往し、暇がなかったし、先生方
も時間がなかったと思う。責められるというよ
うなものではない。

意見 子ども条例を持つ岩倉市であるからこ
そ、学校休業の被害者である子どもの目線に立
って色々な施策を実施していただきたい。条例
には、子ども一人一人の人権を尊重し、参加の
機会を与え、意見を聞き、表明された意見や考
えを尊重するということが書いてある。市全体
の部署で、今一度子ども条例の意義を見直して
いただきたい。

戦争もそうであったように、いつもそのしわ
寄せは、女性や子供といった弱者です。「大人の
優しさ」という言葉は一見綺麗ですが、思い上
がりやエゴを感じます。夏休みの授業の中で、
下校時の子どもの熱中症対策、子どもの命を守
る具体案は未だに発表されていません。

小さな岩倉だからこそ できる！期待して訴
え続けます！ご意見は➡080-5132-5014